

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)



困窮しても生活習慣に問題があっても狭山市に住んでいたい

高橋ブラクソン久美子 (市民派無所属)



録画配信の
2次元コード

◆お金がなくて、困っていて、少し生活上に問題があるけれども、助けていこうよという、そういう狭山市にしてほしい

無料低額宿泊所を勧める場合の対応状況は、入居後、アパートへ移るための支援方法は、**福祉子ども部長** 緊急的に生活の場所の確保が必要な方で、入居できるアパートなどを探すが困難な方に、本人の理解を得た上で案内している。原則、一時的な滞在居住地のため、生活習慣が改善され、単独での居宅生活が可能と



生活保護は
ここで申請を

その他のテーマ▶新型コロナウイルスワクチン接種 ▶コロナ禍での行政サービス、公共施設

なった場合には、今後の生活や就職先など、本人の希望を聞いた上で住まい探しを支援する。入居が決定した際には、NPO法人を活用して、生活する上で必要な様々な支援を行う。

◆コロナ禍で抑圧された生活が増え、人々のつながりの分断され、家庭の様子が外から見えなくなることが多くなった

コロナ禍での児童虐待とDVの通報・相談件数と市の対応は。

福祉子ども部長 児童虐待の通報件数は、2年4月から12月末までに延べ560件、児童虐待に関する養護相談件数は、延べ559件であり、自宅などで児童の安全確認を行うとともに、保護者への注意指導や支援を行った。DVの相談件数は、2年1月から12月末に62件であり、相談者の状況に配慮しながら、必要に応じてケースワーカーを要請した。



「文化財保護と公園整備」「コロナ禍の市税等の徴収猶予」

衣川 千代子 (日本共産党)



録画配信の
2次元コード

◆九頭龍大権現周辺の公園整備の考えは

下奥富にある1850年に造立された九頭龍大権現周辺がジャングル化、公園整備の考えは。

都市建設部長 第2期美しい村づくり事業による下奥富河川敷公園から九頭龍大権現までの整備は、土地の境界が明確でない民有地であったため公園の拡張が困難であった。公有地部分については、水辺再生100プラン事業と川のまると再生プロジェクトにより、鶴ノ木運動公園付近からいるまがわ大橋付近までの環境整備が行われ、整備は完了している。



九頭龍大権現
(市ホームページ)

◆徴収猶予の現状、さらなる徴収猶予の考えは

①新型コロナウイルス感染症拡大で売上が激減し納税が困難な方へ徴収猶予の特例制度ができ、1年間地方税の徴収猶予を受けられることとなったが、徴収猶予適用の現状は。

②このまま経済が回復しなかった場合、納税に回せるお金が出るのか、全く見えない。さらなる徴収猶予の考えは。

総務部長 ①令和2年5月から3年1月末までの9ヵ月間に許可した期別件数と税額は、個人住民税、法人市民税、軽自動車税、固定資産税、都市計画税の合計で541件、5,076万5,200円、国民健康保険税は138件、730万3,100円である。

②適用期間は令和3年2月1日までで、国から新たな特例制度が示されていないことから、現時点で新たな徴収猶予は考えていないが、納税が困難な納税者には、現行の猶予制度を案内し、要件に該当しない場合には、分割納付に切り替えるなど、適切な対応に努めていく。

高齢者施設などでクラスターを発生させないための取組を!

西塚 和音 (無所属)



録画配信の
2次元コード

◆新型コロナウイルス感染拡大防止の取組

①昨年12月に、県が行った高齢者入所施設の巡回と、市の地域密着型サービス事業者への実地指導について、目的や指導に違いはあったか。

②高齢者施設等から複数の新型コロナ陽性者の発生情報を入手したときに、市が支援できることは何か。

長寿健康部長 ①実施目的は、県、市ともに「感染防止対策の再徹底」であったが、市の実施した実地指導では、対象施設にデイサービスなどの通所施設が含まれたことから、指導項目に、利用者の送迎車両の利用時の換気や消毒の徹底及び利用者が事業所内へ入る際の健康チェックの徹底などの調査項目を追加し、実施した。

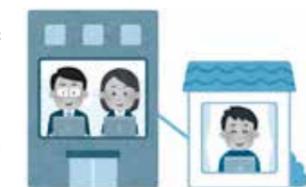
②保健所で行う疫学調査への同行や、必要に応じ

て直接施設と連絡を取り、調整の上、市で備蓄しているアルコールやマスクなどの衛生用品の提供支援を行っている。

◆テレワークと公共施設の利用を

市職員がテレワークを実施するための環境はどのような状況か。

総務部長 緊急事態宣言の発出により、翌1月8日から職員の感染防止を目的に、事務室内の職員数5割を目途に、交代制による在宅勤務を実施しており、自宅では、セキュリティを確保した専用端末により、個人情報を除いた業務が可能になるテレワーク環境の整備に着手した。本庁舎、新狭山地区センター、入曽地域交流センターでは、会議室などを利用したテレワーク環境を整備している。



市職員のテレワークの
環境整備を

基地対策特別委員会 活動報告

2月26日に委員会を開催し、10件の執行部報告などについて協議しました。

主な執行部報告の概要

◆小中学校の公式行事の際の飛行訓練等の中止に関する要望

入間基地に対して、小中学校の卒業式、入学式の際における飛行訓練等の中止について要望したところ「関係部隊と調整を行い、飛行の自粛について配慮する」との回答があった。

◆飛行点検機U-680A・輸送機C-12の入間基地への配備

導入予定の飛行点検機U-680Aの1機が、令和3年1月20日に、C-12の後継機として令和2年度より導入が進められている輸送機C-12の1機が、令和3年2月17日に入間基地に配備された。

その他の主な執行部報告

入間基地に関する令和3年度予算案の主要事業、入間基地内に保管されていたPCB廃棄物、基地警備要員訓練に伴う空包の使用、ピットファイヤー訓練



令和2年度の要望活動のようす

要望活動の実施

基地対策特別委員会では、令和3年度も引き続き、北関東防衛局及び航空自衛隊入間基地に対して「入間基地に関わる市民の生活改善について」の要望活動を行うこととした。

なお、要望内容については、今後の委員会協議するが、令和2年度に新たな航空機が入間基地に配備されたことを踏まえ、市民生活の安心、安全を守るため、安全飛行の徹底を強く要望していく。

ここに掲載していない一般質問の概要は、ホームページでご覧いただけます。議会事務局にご連絡ください。

04-29953-1111 内線3313